

令和5年8月28日

校長 始業式の話

本日から、二学期がスタートします。部活動をしていた人は、「あっという間に夏休みが終わった。」という感じでしょうか。先週、四国の香川県・愛媛県で行われた全国大会に出場した、水泳の西江彩音さん、陸上部の宮崎花梨さん、全国大会出場おめでとうございます。福岡県の代表で全国大会に出場する生徒が福岡中から二人も出たことはたいへん素晴らしいことだと思います。また、筑前地区や福岡県の中体連の大会、コンクール、社会体育の大会、地域のボランティア等も、あったと思います。みなさん最後までよく頑張りました。とても立派な姿でした。努力して成し遂げたことは、自信となって今後の皆さんの人生の礎となることでしょう。先の人生で悩んだときは中学校の時のことを思い出して挫けず進んでいってください。また、頑張っている人の姿をみて、尊敬できるところは取り入れて仲間からも力を得てほしいと思います。

さて、話は変わりますが世界情勢を見ると、ロシアによる軍事侵攻が1年半も続き、ウクライナで民間の人が8500人も亡くなり、両方の軍人は35万4000人も亡くなっています。【福岡中1000×8、福津市人口68500×5】さらに、状況によっては核兵器を使うこともじさないとまで言われています。一日でも早く、戦争が終わり、平和な日々が訪れることを世界が願い日々注視しているところです。また、地球温暖化の影響で自然災害や山火事の被害が大きくなり、たくさんの方が命を落としています。防災について学び命を守る行動を意識しなければなりません。そして、日本社会では、高額なバイトと偽り、アルバイト感覚で強盗や詐欺などの犯罪をさせ、個人情報にぎり犯罪から抜け出せなくする闇バイトがおきています。現代の課題をしっかりと注視したうえで、このようなことがないように対策を考え実行し、このようなことがなくなっていく平和な世界にしていかなければなりません。そんな中スポーツの世界では、スポーツを通して世界では友好関係が進み、選手同士がお互いの健闘をたたえあったり温かい声援や拍手が開催場所や会場全体で行われたりしています。現在も世界陸上やバスケット・ラグビーワールドカップなどが行われ、各競技で日本も世界レベルで互角の試合を見せてくれています。スポーツの世界では国際関係がどうあるべきか示してくれています。

2学期が始まりましたが、皆さんはどんな夢や目標をもち生活しているのでしょうか。「千里の道も一歩から」ということわざがあります。どんなに大きな目標でも、最初の一歩から始めて、一歩ずつ確実に努力を積み重ねることが大切だ、という意味です。大きなことを成し遂げたいと思ったら、まずは手元のことからコツコツと始めていくことが大切で、どんなに遠くても、一歩ずつ進んでいけば、いつかはゴールに着く。これは、「小さな努力の積み重ねが大事」ということを教えてくれる言葉です。さて、皆さん、どんなに大きな夢や目標でも、人を不幸にする内容でなければ、自分のためになることや世のため人のためになることであれば恥ずかしがったりあきらめたりする必要はありません。「千里の道も一歩から」です。夢や目標を見つけて、そこに向けて頑張ってください。